

看護学研究所紀要第11号： 目次,投稿規定,編集後記,奥付

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-05-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/504

武蔵野大学看護学研究所紀要

第 11 号

目 次

研究報告

- 白血病告知後から予期悲嘆にある老年期夫妻とのケアリングパートナーシップ
..... 岡 本 陽 子・諸 田 直 実 1
- 先ゆきの不確かさの中で苦悩する終末期がん患者と夫と看護師のケアリング・パートナーシップのプロセス
— Margaret Newman理論に基づいた実践的看護研究 —
..... 高 山 裕 子・遠 藤 恵美子 11

総 説

- 高齢者の社会的孤立と健康に関する文献研究
..... 齋 藤 泰 子・川 南 公 代 21

その他

- 大学生を対象とした自殺対策のゲートキーパー研修
—市と大学の相互協力事業の一環として—
..... 川 南 公 代・島 田 旬・橘 道 子 31
武 藤 さゆり・栗 田 和 也・齋 藤 泰 子

武蔵野大学看護学研究所紀要投稿規程

編集後記

THE ANNUAL BULLETIN
OF
MUSASHINO UNIVERSITY

Institute of Nursing

No. 11

CONTENTS

Reports

- Caring Partnership with an Elderly Husband and Wife in Anticipatory Grief after a Leukemia Diagnosis
..... Yoko OKAMOTO, Naomi MOROTA 1
- The process of caring partnership between a married couple and a nurse
on the basis of Margaret Newman's theory of health :
end-of-life nursing care for a patient with cancer and her husband who are suffering in a state of uncertainty
..... Yuko TAKAYAMA, Emiko ENDO 11

Review

- A Review of the Literature on Health and Social Isolation of the Elderly in Japan
..... Yasuko SAITO, Kimiyo KAWAMINAMI 21

Others

- The gatekeeper training of suicide prevention for university students as a part of civic-collegiate collaborative projects
..... Kimiyo KAWAMINAMI, Jun SHIMADA, Michiko TACHIBANA 31
Sayuri MUTO, Kazuya KURITA, Yasuko SAITO

The Rules for Writing Articles

Editorial Notes

Institute of Nursing, MUSASHINO UNIVERSITY

2017

武蔵野大学看護学研究所紀要投稿規程

1. 投稿者の資格

紀要へ投稿できる筆頭著者は、武蔵野大学看護学部の教員、大学院生・学部生および卒業生とする。しかし共著論文の場合にはこの限りではない。

2. 提出期日

紀要委員会の定める期日までに提出するものとする。期限を過ぎたものに関しては、一切受理しない。

3. 掲載採否・順序

掲載論文の採否・順序については、紀要委員会が行う。投稿原稿は査読者による査読を行い、査読者の意見に基づいて紀要委員会で決定する。

4. 原稿の種類

1) 本紀要は本学の機関誌であって、本学における教育・研究領域に関する総説、原著、研究報告、資料、その他を掲載する。それぞれの内容は次のとおりである。

〈原著〉

特定のテーマにそって行われた研究で調査や観察、実験のデータに基づき、新たな知見や理解が論述されているもの。

〈研究報告〉

研究結果の意義が大きく、原著には及ばないが、内容が看護学分野の発展に寄与するもの。

〈総説〉

特定のテーマに関連した研究等を統括し、解説したもの。

〈資料〉

調査データや文献などにより得られたデータ・記録で看護学の参考になるもの。

〈その他〉

紀要委員会が特に認めたもの

2) 原稿は和文、英文のいずれでもよい。

3) 原稿は未発表のものに限る。

4) 原稿は1人1編に限る。ただし共同研究に関してはこの限りではないが、筆頭著者とはならない。

5) 原稿の種類が著者の要望と異なるものへ変更される場合がある。この場合、掲載前に紀要委員長より著者に対して通知する。

5. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理委員会の審査を通過していること。また、その旨を本文中に明記すること。ただし、学部生の卒業研究に関してはこの限りではない。

6. 投稿の手続き

1) 投稿原稿は3部提出。うち、1部のみ記名し、他の2部については記名、所属などは伏せること。和文抄録、英文抄録のみをUSBに保存して提出する。

2) 最終原稿提出時には、本文を保存したUSB 1本、原稿2部を提出する。USBは最終校正後返却する。

※ USB提出時の添付資料（A4用紙）

1) 著者名

2) 著者の連絡先

3) コンピューターの使用ソフト（バージョン情報を含む）および文書ファイル保存形式

7. 著者校正

著者校正は原則として1回までとする。校正時の大幅な加筆訂正は認めない。校正済みの原稿は、紀要委員会で定めた日までに必ず返却する。

8. 原稿執筆の要領

1) 和文原稿の場合はA4版横書きで、1ページ40文字×40行とし、12枚以内（図表を含む）とする。英文原稿の場合はA4版で1ページ80文字×40行とし、12枚以内（図表を含む）とする。

2) 和文原稿の場合の本文は、ひらがな、現代仮名遣いを原則とする。外国語を仮名書きする場合は、カタカナとする。数字は算用数字を使用する。英文原稿の場合は、ダブルスペースとする。

3) 図、表および写真は、図1、表1、写真1等の通し番号をつけ、本文とは別に一括し本文原稿右欄外にそれぞれの挿入希望位置を朱書きする。なお、本文にカラー写真等を掲載する場合には、別途その費用を徴収する場合がある。

4) 原稿には表紙を付し、上半分には表題、英文表題、著者名（ローマ字とも）、所属機関名、図、表および写真等の数を書き、キーワードを日本語・英語でそれぞれ5語程度記載する。正版のみ下半分に著者名と所属・肩書き（共著者含む、英文付記）、紀要委員会へ

の連絡事項及び著者（共著の場合は筆頭者）の連絡先（住所、電話、Fax、e-mail）を赤字で記載する。

- 5) 原稿には、400字程度の和文抄録（要旨）をつけること。総説、原著、研究報告には250words前後の英文抄録（Abstract）をあわせてつけること。英文抄録は用紙1枚に表題、著者名、所属、本文の順にダブルスペースで記載する。
- 6) 著者には紀要1部、別刷30部を無償で提供する。それ以上を希望する場合は、その必要部数をあらかじめ紀要委員会に申し込むこと。その場合は超過部数に係る費用は執筆者の負担とする。
- 7) 文献の記載方法はAPAstyleとする。
具体例に関しては以下に示す。

【定期刊行物】

- ・著者名、著者名（発行年）、論文タイトル。
定期刊行物の名称、xx, xxx - xxx.

【非定期刊行物】

- ・著者名（発行年）、著作物のタイトル、出版地：出版社。

【非定期刊行物の一部（書籍中にある章）】

- ・著者名（発行年）、章のタイトル、編者名、書籍のタイトル。（pp.xxx-xxx）、出版地：出版社。

【翻訳された書籍】

- ・著者名（原綴りのまま）（原書の発行年次）／訳者名（翻訳書の発行年次）、邦題（pp.xxx-xxx）、出版地：出版社。を日本語で記す。

【オンライン上の定期刊行物】

- ・著者名、著者名（発行年）、記事タイトル、定期刊行物の名称、xx, xxx。ソースから検索した月日、年号、from アドレス

9. 著作権

本紀要に投稿される論文に関する著作権は、武蔵野大学看護学研究所に帰属する。帰属の時期は原則として最終原稿が投稿された時点とする。最終原稿提出時、紀要委員会より提示される著作権譲渡同意書に著者全員が自筆署名し、論文とともに提出すること。

10. この規定の改廃は、教授会の議を経て学部長が行う。

附則

- この規定は、平成18年10月25日から施行する。
- この規定の改正は、平成21年1月28日から施行する。
- この規定の改正は、平成23年3月1日から施行する。
- この規定の改正は、平成24年4月1日から施行する。
- この規定の改正は、平成26年4月1日から施行する。

編集後記

今年度の武蔵野大学看護学研究所紀要第11号は、研究報告2編、総説1編、その他1編の4編を掲載することができました。

武蔵野大学看護学部は、昨年度、大学院看護学研究科博士後期課程が完成年次を迎え、学部、大学院修士課程、博士課程が整い、教育と研究が充実してまいりました。

また、武蔵野大学学術機関リポジトリが平成28年8月1日より学外公開となり、論文がCiNii（NII学術情報ナビゲータ）に反映されました。これにより機関リポジトリ内のデータをCiNiiから検索することが可能になり、被引用率の向上が期待されます。

そして、この3月には学部の第8期生を輩出します。原著をはじめとする研究論文、卒業生や大学院生との共同研究がさらに活発に行われ、看護の質的な向上へと貢献できるように、本紀要への積極的な投稿をお願いします。

ご多忙な日々を過ごしながら投稿していただいた皆様のご精励に敬意を表します。また、査読の皆様には論文内容が充実するように心温かなご指導をいただき、心から感謝申し上げます。

今後も、看護学研究所紀要のさらなる充実のために、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

武蔵野大学看護学部紀要委員会

委員長 尾 内 雅 子

委員 小 野 恵 子

藤 尾 麻衣子

山 本 摂 子

武蔵野大学看護学研究所紀要 第11号

2017年3月1日発行

発行 武蔵野大学看護学研究所

〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20

電話 042-468-3350(代)

印刷 株式会社 文 伸

〒181-0012 東京都三鷹市上連雀1-12-17

電話 0422-60-2211
